

熊本留学生交流推進会議							
事業名	早期グローバル教育を牽引する留学生交流環境推進事業						
実施期間	平成27年5月24日～平成28年1月31日						
場 所	崇城大学、熊本大学、熊本市国際交流会館、熊本城、霊巖洞、島田美術館、くまもと県民交流館パレア、国立阿蘇青少年交流の家						
参加者	外国人留学生	地域住民	学生	スタッフ	関係者	来場者	合計
	458	61	488	60	19	3	1089 名

### <実施内容>

地域との交流、高校生・学生・留学生の交流、キャリア関係の事業として、本年度、ウェルカムパーティ(春)(秋)、熊本を知ろうボランティアガイド養成講座、「世界における大人とは?」と題した留学生シンポジウム、外国人留学生のための就職説明会などを行いました。



秋のウェルカムパーティ 集合写真

- ① ウェルカムパーティ(春)(秋)  
新入留学生を歓迎するウェルカムパーティを、5月と10月に開催しました。在校留学生、この歓迎パーティを通じて、新入留学生にとっては、日本での生活や文化に溶け込むための第一歩となり、日本人学生にとっては、貴重な国際交流の場となりました。
- ② 熊本を知ろう ボランティアガイド養成講座  
7月11日、12日に実施しました。この講座は、日本語が上達した留学生を対象に、熊本で生活するだけでは味わえない、熊本や日本の事についてより深く知ってもらおうと実施したものです。今回は熊本県内各大学、高専に在籍する留学生14名が参加しました。学生は講義に真剣に耳を傾けていました。講座修了後は、熊本城や霊巖洞を訪問し実際に名所旧跡での実地研修を行いました。
- ③ 外国人留学生のための就職フェア  
2016及び2017年春に卒業予定の外国人留学生、県内企業等へ就職に興味を持つ外国人留学生を対象に県内13の企業が参加し就職活動の全体の流れや実践的な対策法、先輩留学生による就職活動体験、行政書士によるビザ関連の相談、留学生ワンストップ窓口によるよろず相談を行いました。
- ④ 第10回国際ボランティアワークキャンプ  
熊本市国際交流振興事業団と共催し地域高校生との交流や相互の多文化理解に資するものとして8月7日～9日(2泊3日)のボランティアワークキャンプを開催しました。7つの分科会に分かれ学習、討議、発表などを行いました。
- ⑤ 第3回グローバルワークキャンプ  
8月16日～19日(3泊4日)、熊本市国際交流振興事業団と共催しました。留学生と日本人学生、海外から招待した学生で、国際的な資質を磨くことを目的に、平和、国際協力、ソーシャルビジネス、貧困、観光の分科会でのディスカッション、フィールドワーク、ワークショップ及び各国の民族衣装や文化の紹介を通じて相互理解を深めました。
- ⑥ 多文化共生留学生シンポジウム  
12月5日に、熊本市国際交流会館で多文化共生留学生シンポジウムを行いました。前半は、テーマを「世界における大人とは?」と題して、6名の留学生(カンボジア、トルコ、台湾、中国、韓国出身)が自国での大人の定義等について日本語で発表しました。参加者は国によっていろいろな考え方があることを確認できました。後半は熊本城おもてなし武将隊の進行で餅つきをし、地域住民の方々との交流を深めることができました。参加した約70名が師走の伝統行事を体験しました。

### <参加者からのコメント>

董 昕懿さん(中国) / Dong Xin Yi

今回のボランティアガイド講座のことを知ったのは、交流室のちらしを見たからです。ちらしの中の前回記念写真には知った先輩がのってるので、参加したいと思いました。  
初日の講座は熊本城について詳しく紹介してもらいました。今まで熊本城に何回も行きましたが、まだまだ知らないことが多いと分かりました。熊本城は歴史あるお城なので、それをただ見るだけではなく、その中に隠された歴史を知ることで、初めてこのお城を知ることになるのでしょう。  
そして、宮本武蔵の霊巖洞について勉強しました。熊本は武蔵が暮らした場所、そして武蔵は霊巖洞である有名な五輪の書を書いたということを熊本に来て約一年になりますが、初めて知りました。私は武蔵のファンではないが、彼は尊敬できる人だと思います。今回の講座でより武蔵のことを知ることができました、もしこの講座を受けなかったら、武蔵と熊本の因縁を知ることはないでしょう。  
次の日、私達は実際に霊巖洞に行き、そこで武蔵の気配を感じながら、武蔵が創った二天一流とういう二刀流の実演を見させてもらいました。私も試しに木刀を握り、写真を撮りました、貴重な体験です。  
このボランティアガイド講座は留学生に熊本の歴史をもっと知ることができる機会です、皆さんも是非参加してください。

ブルジュ ソイサルさん(トルコ共和国) / Burcu Soysal

「多文化共生留学生シンポジウム」に参加して、良かったと思ったことがたくさんあります。最初に、私はいつも大勢の人々の前で話すのが苦手で、緊張のせいで時々言いたいことが言えなくなります。しかし、このシンポジウムでの雰囲気はとても良くて、来てくれたみんなと意見を交換しながら視野を広げることができました。さらに、発表の後に行われたパネル、色々な国々から来た留学生の意見も聞いて、「ああ、なるほど」と思ったことがたくさんありました。そして、日本人の高校生の将来についての心配や希望を聞いて、自分自身の今までの経験を考えて、アドバイスもしました。楽しかったということのみならず、いい勉強になりました。

その後、シンポジウムに参加したみんなと国際交流会館の前で餅つきを体験したり、食べたりしました。その時、社会人や他の大学の学生たちと会うチャンスもあって、言語や文化の交流しながら美味しい餅を食べました。この日、自分の上達と自分の視野を広げるために国際化の重要性を知りました。

ソック ソポアンさん(カンボジア) / Sok Sophorn

多文化共生シンポジウムのイベントに参加できるチャンスを頂き、よかったですと思います。発表者として自分のプレゼンテーションを皆さんに紹介するだけでなく、自分自身でも色々考えるようになりました。「今の私はもう大人になった？自分自身の毎日の行動に、ちゃんと責任感を持つてる？」と多くの質問が頭の中で思い浮かびました。そして、もう一度自分自身の生活を考えてみました。今私は22歳になっていますが、時々アクションが子供っぽいと思うことがあります。例えば、寝坊したり宿題が遅れたりすることなど、本当に恥ずかしく感じました。これから、自分の考え方や行動をもう一度考え直し、頑張ってちゃんとした人生にしていきたいと思っています。

シンポジウムイベントに参加したことは私の能力が証明できる機会をもらっただけではありません。発表者としてどんな事を準備しなくてはいけないのかということが分かるようになりました。

最後になりますが、色々なアドバイスをして頂いた先生方に心より感謝いたします。また、パネルでは高校生たちと色々なディスカッションをして、とてもいい勉強、経験になり、価値のある一日でした。



No.1 春のウェルカムパーティーで学生が「よさこい」を披露



No.2 ボランティアガイド講座で武蔵継承二天一流龍田保存会よりのデモンストレーション



No.3 多文化共生留学生シンポジウムで発表する留学生



No.4 熊本城おもてなし武将隊と初の餅つき体験